

宮城県公文書館年報

第15号

平成27年度



宮城県図書館企画展



公文書館書庫

宮城県公文書館

Miyagi Prefectural Archives

目次

I 公文書館の概要	
1 設置目的	1
2 業務内容	1
3 沿革	1
4 組織	2
5 予算	2
6 施設・設備	2
II 平成27年度事業の概要	
1 資料の選定・収蔵	3
2 簿冊・絵図面の内容調査	3
3 閲覧台帳等の整備	4
4 書庫特別整理	4
5 保存対策	4～5
(1) 補修	
(2) マイクロフィルム化・複製化	
(3) 資料のデジタル化	
(4) 当館の環境管理	
6 利用状況	6
7 広報普及	7～10
(1) 展示	
(2) 広報誌の発行	
(3) 講演等	
III 平成28年度事業計画	10～11
IV 平成27年度宮城県公文書館の活動(ダイジェスト)	12

I 公文書館の概要

1 設置目的

宮城県公文書館は、「公文書館条例」（平成12年宮城県条例第132号）に基づいて設置された施設であり、歴史資料として重要な公文書等を保存し、県民共有の文化遺産として後世に伝えるとともに、閲覧、複写その他の利用に供することを目的とする。

2 業務内容

公文書館の主な業務は、次のとおりである。（宮城県公文書館条例施行規則第2条）

- (1) 歴史的価値を有する公文書その他の記録（以下「公文書等」という。）の保存に関する事。
- (2) 公文書等の閲覧その他の利用に関する事。
- (3) 公文書等の調査研究に関する事。
- (4) 前3号に掲げるもののほか、公文書館の設置の目的を達成するために必要な事業。

3 沿革

昭和63年6月	公文書館法施行
平成元年度～	保存期間満了文書の中から歴史的・文化的価値の高い公文書の選別・収集・保存を開始
元年11月～2年3月	宮城県公文書館構想庁内ワーキンググループ設置
2年10月～3年3月	宮城県公文書館（仮称）建設検討委員会及び建設検討ワーキンググループ設置
3年7月～4年3月	宮城県公文書館（仮称）建設懇話会を設置（有識者7名）
4年3月	宮城県公文書館（仮称）建設懇話会から知事へ公文書館建設について提言
4年10月～5年3月	宮城県総合情報センター・公文書館（仮称）建設基本構想を策定
5年4月	他施設（国際交流プラザ）との併設を検討
9年7月	新図書館建設による旧図書館利活用庁内ワーキンググループ設置
11年1月	公文書館建設基本構想（平成5年3月）を断念し、旧図書館の活用を決定
13年4月1日	宮城県公文書館条例・同条例施行規則施行
13年4月21日	宮城県公文書館開館
14年6月	第14回都道府県・政令指定都市等公文書館長会議を当館で開催（国立公文書館主催）
15年11月	第29回全国歴史資料保存利用機関連絡協議会全国大会（同協議会・宮城県主催）開催
23年2月	宮城県図書館への移転に係る施設改修経費が2月議会で議決
23年3月11日	東日本大震災による被害甚大
24年8月～10月	東日本大震災復旧工事
24年12月	宮城県図書館改修（新公文書館）工事竣工
25年1月～3月	宮城県図書館（新公文書館）へ引越作業
25年4月1日	宮城県図書館（新公文書館）へ移行後の再開館

4 組織（平成28年3月31日現在）



5 予算 平成28年度当初

資料保存事業費	32,140千円
庁舎管理経費	14,506千円
合計	46,646千円

6 施設・設備

(1) 施設

- ① 名称 宮城県公文書館
- ② 所在地 仙台市泉区紫山一丁目1番地1号（宮城県図書館内2階西側）
- ③ 敷地面積 55,278.74㎡（宮城県図書館の敷地面積）
- ④ 構造 鉄骨鉄筋コンクリート造り地下1階地上4階建て
うち公文書館分は、1階2階部分の一部
- ⑤ 建築年月 平成9年9月竣工
- ⑥ 建築面積 6,365.02㎡（図書館・公文書館の合計）
- ⑦ 延べ床面積 18,100.63㎡（図書館・公文書館の合計）
うち公文書館分は、761.61㎡
- ⑧ 駐車場 面積 6,700㎡（図書館・公文書館の合計）
台数 300台（図書館・公文書館の合計）
- ⑨ 公文書館専用部分内訳

1 階		2 階	
室名	面積	室名	面積
書庫 (書庫内側面積)	493.44㎡ (344.0㎡)	事務室及び閲覧室	190.31㎡
消火設備機械室	17.88㎡	展示スペース	6.22㎡
		公文書調査室	36.62㎡
		倉庫	17.14㎡
1階計	511.32㎡	2階計	250.29㎡

(2) 設備

- ・昇降機 1台（執務室）
- ・検索テーブル 2卓（閲覧室）
- ・閲覧用テーブル 9卓（閲覧室）
- ・絵図面閲覧テーブル 2卓（閲覧室）
- ・マイクロフィルムリーダー・プリンタ 1台（閲覧室）
- ・デジタルブックコピー 1台（執務室）
- ・展示ケース（移動式） 2台（展示コーナー）
- ・荷物置ロッカー 1台（廊下）

II 平成27年度事業の概要

1 資料の選定・収蔵

保存期間の満了した公文書の中から、歴史的価値を有する公文書を選定し、収蔵した。

(平成28年3月末現在)

区 分		平成26年度末 所 蔵 数 (a)	年 号 ・ 年 度 区 分 訂 正 (b)	平成27年度 収 蔵 数 (c)	平成27年度末 所 蔵 数 (a+b+c)	備 考
公 文 書	明治期公文書	3,671	0	0	3,671	
	大正期公文書	1,692	0	0	1,692	
	昭和期公文書	26,297	0	653	26,950	
	平成期公文書	5,454	0	502	5,956	
	計	37,114	0	1,155	38,269	
絵 図 面		1,565	0	0	1,565	
行政資料等		8,582	0	0	8,582	
合 計		47,261	0	1,155	48,416	

2 簿冊・絵図面の内容調査

(1) 簿冊及び絵図面のタイトル、作成年度、記載内容、公開・非公開区分、破損状況、補修要否などを調査した。

(平成28年3月末現在)

区 分	平成26年度末 調査済数	平成27年度中 調査数	平成27年度末 調査済数	備 考
簿 冊	30,052	1,522	31,574	昭和59年度途中まで
絵 図 面	1,565	0	1,565	
合 計	31,617	1,522	33,139	

(2) 利用制限基準の改定(平成21年度改定)に伴う公開の可否及び利用制限期間について、再調査した。

(平成28年3月末現在)

区 分	明治期公文書	大正期公文書	昭和期公文書 昭和51年度まで	合 計
対象簿冊数	3,671	1,692	20,889	26,252
平成26年度末 再調査済数	810	309	990	2,109
平成27年度 再調査済数	0	0	0	0
残	2,861	1,383	19,899	24,143

※平成27年度は、優先度の高い他事業との兼ね合いで、再調査には着手できなかった。

3 閲覧台帳等の整備

完了後30年以上経過したすべての所蔵資料名と内容調査が終了した資料の調査結果のデータについて、収蔵資料等検索システムに入力するとともに、年度別及び分類別の閲覧台帳を作成し、窓口に備え付けた。

4 書庫特別整理

書庫特別整理として、収蔵資料リストに基づいて簿冊及び絵図面等の配架場所や収納場所などを確認し、整理を行うとともに、配架年度の再確認等を実施した。

5 保存対策

(1) 補修

簿冊の内容調査に合わせて、ホチキス、クリップ等金具の除去と紙縫による綴じ直し、破れている綴じ穴の和紙による裏打ち補修、セロテープ貼り写真の糊による貼り直し、及び「まくら」をはずして綴じ直すなどの補修を行った。内容調査時以外においても、破損を発見した際には補修を行った。また、書庫特別整理期間中においても整理を行った。

修復簿冊数

(平成28年3月末現在)

	明治期公文書	大正期公文書	昭和期公文書	平成期公文書	合計
平成24年度	314冊	147冊	864冊	35冊	1,360冊
平成25年度	67冊	30冊	721冊	55冊	873冊
平成26年度	26冊	20冊	811冊	0冊	857冊
平成27年度	0冊	0冊	796冊	0冊	796冊
計	407冊	197冊	3,192冊	90冊	3,886冊

(2) マイクロフィルム化・複製化

(平成28年3月末現在)

区分		平成26年度末 収蔵数 a	平成27年度 作成数 b	平成27年度末 収蔵数 a+b	備考
マ イ ク ロ フ ィ ル ム 化	公文書	433巻	14巻	447巻	
	行政資料等	151巻	0巻	151巻	
	計	584巻	14巻	598巻	
	絵図面等	5,762枚	0枚	5,762枚	
複製	絵図面	1,408枚	209枚	1,617枚	

(3) 資料のデジタル化

こんにやく版や湿式コピー文書等、褪色の可能性のある文書を含む簿冊一覧から台帳を作成し、デジタルカメラで撮影し、デジタルデータをHDDに保存した。

平成27年度から県広報誌アルバム等のネガスキャンを実施している。

(平成28年3月末現在)

区 分	明治期公文書	大正期公文書	昭和期公文書	写真ネガ	合 計
平成26年度末	905冊	419冊	0冊		1,324冊
平成27年度	0冊	0冊	0冊	13,860枚	0冊 13,860枚
平成27年度末	905冊	419冊	0冊	13,860枚	1,324冊 13,860枚

(4) 当館の環境管理

収蔵資料の保存環境は、保存業務の大きな柱であり、書庫内は24時間空調で、温度20～24℃以下(22℃±2℃)、湿度50%～60%(55%±5%)に設定し、温度・湿度は、書庫内4箇所、書庫外2箇所で計測し管理している。

IPM化については、平成26年度に移行し、月2回の書庫内清掃や職員による定期的な害虫モニタリング、さらに年1回専門業者による書庫環境総合調査を実施し環境維持に努めている。

県庁から移管される行政文書等は県庁書庫で殺虫駆除後直ちに当館書庫に搬入しており、不定期で収蔵される資料については、平成27年度に導入した簡易殺虫装置により処理している。



【書庫清掃風景】

IPM

総合的有害生物管理(IPM)は、薬剤だけに頼らず生物被害を防ぐ手法である。主に清掃・温湿度調整などの環境管理を組み合わせ、害虫やカビによる収蔵品等の被害を防除する。



【宮城県公文書館IPM化】

簡易殺虫装置(二酸化炭素)

二酸化炭素を使用し、公文書等に加害する各種害虫を駆除するための装置である。残留毒性に心配は無いが、高濃度の二酸化炭素をバッグ内に充填させ使用するため、取扱に注意を払い、十分に換気を行い酸欠に注意する。



【ふくろうくん】

6 利用状況

完結後30年以上経過した文書を個人情報等に配慮しながら、閲覧や複写サービスの提供に努めた。

(1) 来館による利用状況

(平成28年3月末現在)

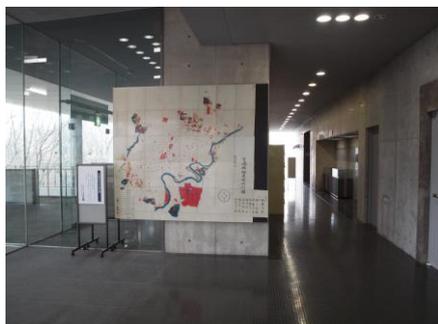
区 分	閲覧室利用者数 a	資料閲覧利用冊数(行政利用含む)	複写申請件数(デジカメ撮影含む)	展示室入者数 b ※	入館者数合計 a + b
4月	39	252	23	9	48
5月	47	181	20	9	56
6月	61	225	19	10	71
7月	71	207	22	18	89
8月	52	157	31	20	72
9月	49	100	13	16	65
10月	53	82	23	36	89
11月	52	176	20	27	79
12月	41	155	26	28	69
1月	26	72	15	6	32
2月	63	299	32	19	82
3月	69	274	43	19	88
合 計	623	2,180	277	217	840
1日平均 (稼働232日)	2.69	9.40	1.19	0.94	3.62

※ 移転後の公文書館は、廊下展示コーナー(温故回廊)のため、すべての利用者把握が困難であった。

(2) その他の利用状況

(平成28年3月末現在)

館外貸出許可 (博物館等での展示)	出版物掲載等許可	レファレンス件数		
		メール	メール以外	計
8	22	16	24	40



2階公文書館前ロビー



閲覧室

7 広報普及

歴史資料として重要な公文書等を保存し後世に伝えていくことの必要性等について、県民の理解を得るため、移動展・常設展を開催するとともに、「年報」や「公文書館だより」を発行し、ホームページに掲載した。

(1) 展示

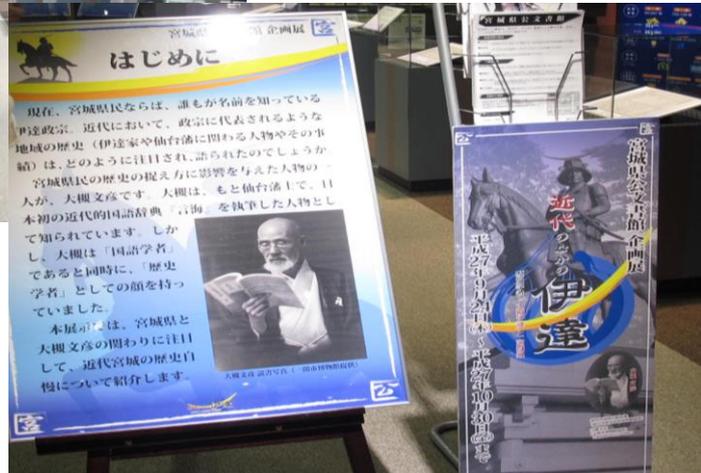
区分	テーマ	場所	期間	入場者数	
温故回廊 (常設展)	第1回 公文書館所蔵資料紹介 (諸願伺決議綴、露国皇太子御 来遊関係書類 外)	展示コーナー (温故回廊)	平成27年6月2日～ 平成27年9月29日	—	
	第2回 公文書館所蔵資料紹介 (農商工 - 水産、学校 - 補修学 校 外)	展示コーナー (温故回廊)	平成27年10月1日～ 平成27年12月26日	—	
	第3回 公文書館所蔵資料紹介 (絵図面(栗原郡猿飛来村)、 宮城電気鉄道図面 外)	展示コーナー (温故回廊)	平成28年1月5日～ 平成28年5月31日	—	
展示ケース (常設展)	第1回 公文書館資料紹介 ～二宮金次郎はどこからやって きた?～	公文書館入口 (展示ケース)	平成27年7月1日～ 平成27年10月31日	—	
	第2回 公文書館資料紹介 ～蚕、知ってますか?～	公文書館入口 (展示ケース)	平成27年11月3日～ 平成28年2月27日	—	
	第3回 公文書館資料紹介 ～近代のなかの伊達～	公文書館入口 (展示ケース)	平成28年3月1日～ 平成28年5月31日	—	
企画展	連携展示 近代のなかの伊達 —歴史学者・大槻文彦と宮城県—	図書館展示室	平成27年12月5日～ 平成28年2月26日	6,032人	
移動展	宮城県 図書館	宮城県公文書館紹介(パネル展 示)	宮城県図書館1 階エントランス ホール	平成27年6月10日～ 6月23日	—
	県庁	近代のなかの伊達 —歴史学者・大槻文彦と宮城県—	県庁広報展示室 18階	平成27年9月24日～ 10月30日	1,037人
	東北歴史 博物館	近代のなかの伊達 —歴史学者・大槻文彦と宮城県—	東北歴史博物館 エントランスホ ール	平成27年10月21日～ 11月23日	—
	県庁	宮城県公文書館紹介(パネル展 示)	県庁1階ロビー	平成28年1月27日～ 2月9日	—



【常設展(温故回廊)】



【常設展(展示ケース)】



【移動展（県庁18階）近代のなかの伊達】



【移動展（宮城県図書館エントランスホール）パネル展示】

（2）広報誌の発行

広報誌の発行は、次のとおり、ホームページに掲載した。

- ① 「宮城県公文書館だより」
 - 第28号 平成27年 7月 1日発行
 - 第29号 平成27年11月 1日発行
 - 第30号 平成28年 2月 1日発行
- ② 「宮城県公文書館年報」
 - 第14号（平成26年度） 平成27年5月発行

(3) 講演等

住民や学生に対する講演等を実施し、公文書館の広報活動を行うことにより公文書館の利用促進を図る。

① みやぎ県民大学開放講座4回の講座のうち1回分を公文書館で担当した。

題名 近代のなかの伊達－歴史学者・大槻文彦と宮城県－
日時 平成27年9月12日(土) 13:30～15:00
場所 宮城県図書館 2階 ホール養賢堂
定員 50名

② 宮城女子大学出張講座

題名 公文書館活用術
日時 平成27年5月25日(月)
場所 宮城学院女子大学
人数 17名(学芸学部人間文化学科)

③ 東北大学出張講座

題名 公文書館の現在とこれから
日時 平成27年5月29日(金)
場所 東北大学
人数 27名(文学部人文社会学科)

東北大学出張講座

題名 公文書館活用術
日時 平成27年10月13日(火)
場所 東北大学
人数 16名(文学部人文社会学科)

④ 宮城教育大学施設見学・解説講座

題名 公文書館解説講座
日時 平成27年6月27日(土)
場所 宮城県図書館 ホール養賢堂
人数 15名(教育学部社会科教育講座)



【宮城教育大学施設見学・解説講座】

- ⑤ 宮城県白石高等学校職場訪問
 題名 公文書館見学・業務内容や保存について
 日時 平成27年9月3日(木)
 場所 宮城県公文書館
 人数 3名(普通科2年生)
- ⑥ 東北芸術工科大学施設見学・解説講座
 題名 公文書館解説講座
 日時 平成27年9月9日(金)
 場所 宮城県図書館 ホール養賢堂
 人数 7名(芸術学部歴史遺産学科)

Ⅲ 平成28年度事業計画

1 管理運営と図書館等との連携及び諸規程の整備・検討

平成25年4月の移転後は公文書館と図書館が併置され、同じ建物内に2つの別個の機関が存在することになる。利用する県民の皆様への利便に配慮し、サービス向上に努めることとし、施設使用のあり方などについて、両者は協議、調整、連携を密にする必要がある。そのため、定期的に打合会議を実施する。

また、公文書管理条例の策定及び30年未経過文書の利用制限の見直し検討、歴史的・文化的価値のある公文書の選定解除制度化の検討等を行う。

2 資料の選定、保存、利用等

保存期間が満了した公文書の中から、歴史的・文化的価値のある公文書を選定して、収蔵する。

簿冊・絵図面の内容調査及び簿冊の再調査を行い、閲覧台帳及び収蔵資料等検索システムのデータ等を整備する。

(1) 保存対策

- ① 内容調査時の補修
- ② 資料のマイクロフィルム化
- ③ 絵図面のカラー複製化
- ④ 書庫環境調査(平成26年度から宮城県公文書館 IPM 化の導入)
- ⑤ 簡易殺虫装置(二酸化炭素殺虫)
- ⑥ 所蔵資料のデジタル撮影
- ⑦ 調査済み簿冊のホチキス針除去、写真糊付け、ポケット台紙へ入れ直し
- ⑧ 絵図面等の修復・保存の検討

(2) 収蔵資料等検索システム再構築

(3) 書庫保存スペースの確保

定期的に情報公開室と検討する。

3 東日本大震災に係る公文書への対応

(1) 震災関連公文書の選定・収集・保存・公開

(2) 被災した公文書の対策

県政情報公開室と連携し、被災事務所における被災した公文書への対応の在り方や具体的な対応措置を検討・指導する。

4 広報普及活動

広報誌は、「公文書館だより」及び「公文書館年報」を発行し、ホームページに掲載する。

展示は、展示室の使用について図書館と調整し、併設展を開催する。また、展示スペース「温故回廊」「入口脇の展示ケース」において、定期的に展示替えを行い、分かりやすく公文書館を紹介する。

移動展は、平成27年度に引き続き県庁展、県庁ロビーパネル展示を行うとともに、東北歴史博物館でパネル展示を実施する。

5 会議研修関係

「全国公文書館長会議（国立公文書館主催）」「公文書館等職員研修会（国立公文書館主催）」「全国歴史資料保存利用機関連絡協議会（同協議会主催）」「宮城県博物館等連絡協議会（同協議会主催）」に参加する。

6 施設設備関係

施設管理に当たっては、図書館と連携を図りながら適正に管理する。

また、資料管理は、資料の適正で安定的な管理を第一に考えて最善の措置をする。

IV 平成27年度 宮城県公文書館の活動(ダイジェスト)

事業	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
資料の選定・受入・整理										H27年度移管資料選定作業		H26年度移管文書 搬入・整理		
		個人寄贈資料 受入・整理												
資料の調査		H25年度移管文書 内容調査										H26年度移管文書 内容調査		
		利用制限の解除4/30												
		件名目録の入力(昭和2年度～昭和11年度)												
		県広報ネガのスキャン												
資料の保存管理と代替資料の作成		定期的清掃等による書庫適正管理												
							行政文書 マイクロ作製(14点)			絵図面 複製シート・デジタルデータ作製(209点)				
						書庫モニタリング(外部業務委託)								
展示		常設展12月～5月 収蔵資料展③		常設展4月～7月 収蔵資料展①			常設展8月～11月 収蔵資料展②			常設展12月～3月 収蔵資料展③				
				常設展(展示ケース①)7月～9月 「二宮金次郎はどこからやってきた?」			常設展(展示ケース②)11月～2月 「蚕、知っていますか?」			常設展(展示ケース③)3月～5月 「近代のなかの伊達」				
				企画展9月～10月 県庁県政広報展示室「近代のなかの伊達」			企画展12月～2月 図書館との連携展示「近代のなかの伊達」							
			紹介パネル展 6月 図書館エントランス				移動展10月～11月 東北歴史博物館エントランスホール「近代のなかの伊達」			紹介パネル展 1月～2月 県庁ロビー				
会議		県政情報公開室・公文書館会議4/24				県政情報公開室・公文書館会議8/28			県政情報公開室・公文書館会議10/22			県政情報公開室・公文書館会議2/10	県政情報公開室・公文書館会議3/16	
		図書館・公文書館連絡調整会議4/17				図書館・公文書館連絡調整会議8/20			図書館・公文書館連絡調整会議11/10			図書館・公文書館連絡調整会議2/9		
視察受入・研修開催			宮城教育大学公文書館見学・解説講座6/27				白石高校職場見学9/3 東北芸術工科大学公文書館見学・解説講座9/9			石川県総務課調査11/11			石川県議会運営委員会視察2/4	
講師派遣			宮城学院女子大学出張講座5/25 東北大学出張講座5/29				みやぎ県民大学解放講座9/12		東北大学出張講座10/13					
広報等		公文書館年報第14号発行			公文書館だより第28号7/1発行				公文書館だより第29号11/1発行			公文書館だより第30号2/1発行		
入館者数		36	47	53	60	47	47	51	46	37	23	56	60	563(累計)
一般利用申請者数		21	22	23	28	25	19	17	18	24	13	31	36	277(累計)
一般利用資料点数		216	181	148	157	126	100	79	129	152	71	258	232	1849(累計)
行政利用申請件数		2	0	3	6	1	0	1	4	1	1	3	4	26(累計)
行政利用資料点数		36	0	77	50	31	0	3	47	3	1	41	42	331(累計)
レファレンス件数(窓口相談を含む)		9	8	23	18	9	12	16	5	5	4	17	11	137

宮城県公文書館

〒981-3205 仙台市泉区紫山一丁目1番1号

TEL 022-341-3231 FAX 022-341-3233

✉ [メール:koubun@pref.miyagi.jp](mailto:koubun@pref.miyagi.jp)

URL:<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/koubun/>